



地域医療と暮らしのゆくえ 超高齢社会をともに生きる

高山義浩

多死時代のプライマリ・ヘルスケア
その答えは暮らしのなかに

世界の貧困・紛争をテーマにきた若者が、医師となって、佐久で若月俊一の魂に出会った。沖縄にあって地域医療の最前線にあり、時に霞が関のミッションを帯びて奔走し、どの現場でも汗をかき続けるその目に「地域包括ケアシステム」の実像はどう映るのか。この国のかたちをどう模索しているのか。日々の診療の傍ら、月刊『病院』、朝日新聞医療サイト「アピタル」など多方面に発信する著者による、現代に若い病むひとを支えたいすべての医療者に捧げる提言の書。

医学書院

地域医療と暮らしのゆくえ

超高齢社会をともに生きる

高山義浩＝著

本体 1,800 円＋税／A5 判・180 頁／医学書院／2016

世界の貧困・紛争をテーマにさすらった若者が、医師となって、佐久で若月俊一の魂に出会った。沖縄にあって地域医療の最前線にあり、時に霞が関のミッションを帯びて奔走し、どの現場でも汗をかき続けるその目に「地域包括ケアシステム」の実像はどう映るのか。この国のかたちをどう模索しているのか。日々の診療の傍ら多方面に発信する著者による、現代に若い病むひとを支えたいすべての医療者に捧げる提言の書。